

『2021. 3. 9 一般質問回答』から

- ★桂川小・桂川東小学校の1年生が動物見学で学校訪問。
- ★桂川小・桂川東小学校の高学年がプログラミング学習として、嘉穂総合高校内のパソコンを活用して、生徒とともに活動。
- ★桂川東小学校の2～4年生児童が野菜の栽培活動で、年間を通じて交流。
- ★ふるさと応援寄付金に対して、
 - ・農業食品科の生徒さんが作ったお米とジャム、
 - ・工業科の生徒さんが作った文鎮
 - ・普通科（ファッションデザイン選択）の生徒さんが作ったマスク
 をセットで、返礼品としている。
- ★秋の王塚古墳祭り in 桂川の際に、体験コーナーのスタッフとして参加して、
 - ・ポニーを会場に連れての乗馬体験
 - ・総合高校でつられたお菓子や加工品の販売
 などをしてもらっている。
- ★いいバイけいせんにおいて年5～6回実施されている“出張青空市”で連携して実施。

☆学校教育課としては、具体的な支援は行っていませんが、高校生と児童が交流活動を行うことにより、高校生が将来目指すべき進路を方向付けるキャリア教育に寄与しているものと考えます。

『ふくおか県議会だより』第46号 から

を理念とする新学習指導要領に基づき、地域の産業・文化や地域課題の解決を題材とした探究活動、地元企業と連携したオリジナル商品の開発など、地域資源をいかした教育活動を展開している。今後、表彰制度やコンテストを通じて、地域との協働活動を含む学習の成果等を評価し、各高校が切磋琢磨しながら教育活動を充実させ、地域との連携を深められるよう取り組んでいく。



山本 耕一
(北九州市若松区)

ため、どのように取り組むのかを教育長に尋ねる。

県立高校における「地域学」への取り組みを活発にする